

とうかつ 第35号

普及だより

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-toukatsu/>

平成28年2月発行

発行：千葉県東葛飾農業事務所

改良普及課

東葛飾農林業振興普及協議会

住所：柏市柏 255-1

電話 04-7162-6151

FAX 04-7162-6154

若い力が集結！各地の4Hクラブ活動に注目

東葛飾地域は、県内でも農業後継者が多く、市川、船橋、松戸、柏、流山、鎌ケ谷の6市105名が、各地の4Hクラブに所属し、栽培技術・経営に関する勉強や、課題解決方法を検討するプロジェクト活動を中心に、即売会や収穫体験等を通じた地域農業のPR、クラブ間の交流等を行っています。

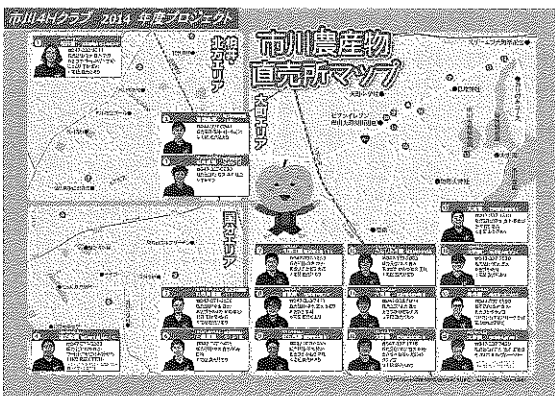


青年農業者会議

表彰された鈴木友也氏を祝う市川4Hのメンバー

市川4Hクラブでは、県内の若い農業者が一堂に集まった第54回千葉県青年農業者会議において、梨園の新たな宣伝方法に関するプロジェクト活動を発表して優秀な成績を収めた地域活動部門の県代表として関東大会に選出されました。関連して作成した「市川農産物直売所マップ」は、クラブ員の販促活動の活性化にも繋がり、好評を得ています。

(パンフレットに関する問い合わせは、大彦園 047-337-7439まで)



顔が見える直売所マップ。販売品目もわかります

また、他県の優良事例の視察や、梨の新品種の導入を検討するため食味会等、個々の経営改善に役立つ活動も積極的に行っています。



合同視察研修

埼玉県むさし4Hを視察し、婚活プロジェクトを学ぶ

流山、鎌ケ谷の各クラブでは、幼稚園児のさつまいも収穫体験の受け入れを拡大したり、船橋、松戸の各クラブでは、抑制とうもろこしや落花生といった新品目の栽培や販売を行ったりと、新たな試みに取り組んでいます。

5クラブ合同の活動もあり、クラブ員相互の繋がりも広がっています。4Hクラブは、同世代の仲間づくりの場でもあります。

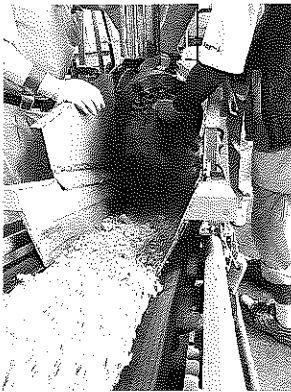
東葛飾地域で初の取組
野田市で耕畜連携がスタート！

今年度から、野田市では地元
の営農組合と酪農家が連携して、
稲WCS（ホールクロップサイ
レージ）と粃米SGS（ソフト
グレインサイレージ）の生産と
乳牛への給与が試験的に始まり
ました。稲WCSは稲の茎と穂
の部分サイレージ化した飼料
で、チモシー等のイネ科乾草と
代替できます。粃米SGSは生
粃米を破砕加工しサイレージ化
した飼料で、トウモロコシ等の
濃厚飼料と代替できます。



稲WCS収穫調製の様子

今年度の取組面積は、約5ha
（稲WCS 4ha、粃米SGS
1ha）で、市内の酪農家2戸で
試験的に給与しています。稲W
CSも粃米SGSも乳牛の嗜好
性は良好で、輸入飼料と比べ飼
料費も安価になることから、給
与した酪農家では好評です。
農業事務所では、収穫調製作
業の技術的支援、飼料設計の提
案等を行い、耕種農家と酪農家
の飼料生産及び受け入れ体制の
整備を支援しました。
今後、水田を活用した自給
飼料生産の定着に向け、関係機
関と協力し、稲WCSや粃米S
GSの地域内利用を推進してい
きます。



粃米SGS収穫調整の様子
(破砕作業)

女性グループが梨産地をPR！
鎌ヶ谷市「根郷梨通り」

鎌ヶ谷市根郷地区の女性農
業者が梨産地のPR活動に立
ち上がりました。

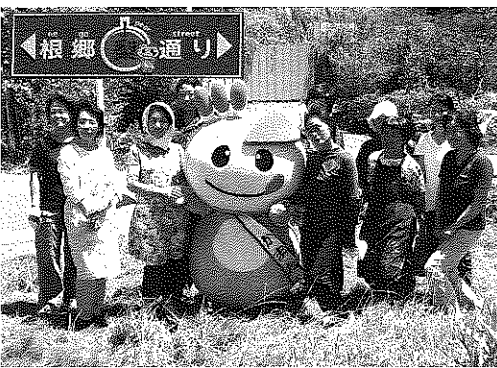
農業事務所が開催する「さ
わやか農業女性セミナー」の
受講生が以前、他産地を視察
した際、沿道に立つ梨の看板
を見て、同地区の12名が「自
分たちも顧客確保のため何か
動こう」という話でまとまり、
鎌ヶ谷市役所や農協、農業事
務所も交え、話し合いや相談を
重ねました。

メンバーはまず、通りかか
る人たちに地区の名前と梨の
産地であることを知ってもら
おうと、沿道に「根郷梨通り」
の看板を設置しました。

次に、近くにあるプロ野球
日本ハムファイターズ球場の
試合開催日に合わせ、梨の販
促イベントを実施しました。
球場にも掲示や場内アナウン
スなどの協力を依頼し、鎌ヶ

谷市マスコットキャラクター
「かまたん」も応援に來まし
た。事前に情報を聞きつけ、
新聞やミニコミ紙、ケーブル
テレビが取材に訪れ、家族み
んなの協力を得て開催できま
した。

鎌ヶ谷市は梨の直売が盛ん
ですが、地域ぐるみでの販促
活動は当地区が初めてです。
メンバーは看板設置から関係
者への協力依頼、イベント開
催など全て主体的に行い、生
産者はみな来場者の反応を見
て今後への手応えを感じまし
た。



根郷梨通り看板、グループのメンバーと
鎌ヶ谷市マスコットキャラクター「かまたん」

梨ジョイント仕立ての
経営収支について

①経営面からみたジョイント
仕立ての利点と欠点

ジョイント仕立てでは密植で単
純な樹形を完成させることから、
「改植後、早期に収量を確保で
きる」という利点があり、改植
による減収期間が短縮できます。
一方で、面積あたりの栽植本
数が増えることや苗木の育成圃
場の設置などのために資材費な
どの初期費用が慣行と比較して
高くなります。

②ジョイント仕立ての経営収
支について

神奈川県農業技術センターの
柴田健一郎主任研究員は慣行の
仕立てと比較した際の経営収支
について下のような試算をして
います。

これによると10aあたりの
初期費用はジョイント仕立てで
およそ75万円となり、慣行仕立

表1 ジョイント栽培導入時における苗木等の専用育苗に要する経費（慣行栽培と比較）

資材	規格、単位等	単価	必要数*		金額	
			①	②	①	②
苗木代	幸水	1,300	250	40	325,000	52,000
支柱	270cm	387	400	360	154,800	139,320
不織布ポット	12L、直径25cm	254	200	0	50,800	0
赤土	立米	7,000	2	0	14,000	0
パーク堆肥	kg	32	500	0	16,000	0
肥料	複合燐加安44号 kg	112	10	0	1,120	0
結束バンド	リビート型100本入り	1,620	800	0	12,960	0
結束ひも	クラニロープ	1,566	1	1	1,566	1,566
テープナーテープ	赤 m単価	4.38	317.5	0	1,391	0
カルスメイト	150g	864	4	0	3,456	0
灌水チューブ	100m	3,047	1	0	3,047	0
灌水タイマー等一式		20,000	1	0	20,000	0
細工カンナ		2,895	1	0	2,895	0
BM苦土重焼燐	2kg/樹	131	444	80	58,164	10,480
粒状タイニー	2kg/樹	27	444	80	11,988	2,160
パーク堆肥	5kg/樹	32	1,110	200	35,520	6,400
ジョイント主枝支持線	#12被覆線 1000m巻	20,000	1	0	6,660	0
特許実施料	152円/本	152	222	0	33,744	0
合計					753,111	211,926

※ ①ジョイント(3m×1.5m)：10aあたり222本植え。②4本主枝(7m×7m)：初期密植で10aあたり40本、その後間伐し、10aあたり20本植え、で計算した。

表2 ジョイント栽培導入から8年目までの累計収支の慣行栽培との比較

	単価 500円/kg	収量 (kg)	収入額	支出合計額※3	単年度収支	累計収支
ジョ イ ン ト ※ 1	1年目	0	0	753,111	-753,111	-753,111
	2年目	0	0	27,001	-27,001	-780,112
	3年目	500	250,000	51,548	198,452	-581,659
	4年目	1000	500,000	89,125	410,875	-170,784
	5年目	2000	1,000,000	141,429	858,571	687,787
	6年目	3000	1,500,000	148,033	1,351,967	2,039,754
	7年目	3000	1,500,000	148,033	1,351,967	3,391,721
	8年目	3000	1,500,000	148,033	1,351,967	4,743,688
4 本 主 枝 ※ 2	1年目	0	0	230,929	-230,929	-230,929
	2年目	0	0	22,431	-22,431	-253,360
	3年目	29	14,595	27,194	-12,599	-265,959
	4年目	136	68,089	33,613	34,477	-231,482
	5年目	401	200,292	52,496	147,796	-83,686
	6年目	853	426,515	78,334	348,181	264,495
	7年目	1449	724,281	105,117	619,164	883,659
	8年目	2099	1,049,583	126,551	923,032	1,806,691

※1 ジョイントの1年目は育苗のみ、2年目に定植。

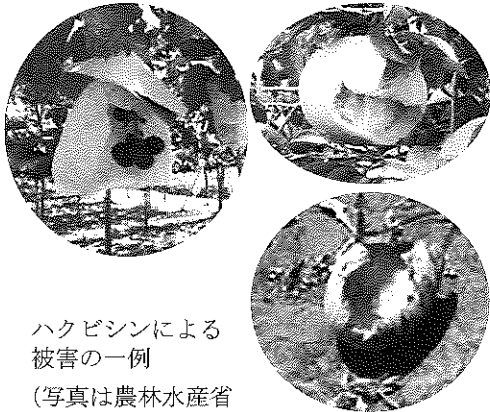
※2 千葉県農林総合研究センターが作成したデータから計算した。

※3 植付費、肥料費、農業費、光熱水費、諸材料費、出荷資材費の合計。

てより55万円程度高くなりま
す(表1)。一方で、苗木の育
成を開始してから2年で樹形
が完成し、3年目から着果する
ことで、5年目からは初期費用

を含む累計収支が慣行仕立てよ
り多くなります(表2)。
初期費用や収量は、園地の状
況や管理方法等によって左右し
ますが、早期に収量を確保し改

植や園地拡大を行えることは、
ジョイント仕立ての大きな利点
であると言えます。



ハクビシンによる被害の一例

(写真は農林水産省 野生鳥獣被害防止マニュアル -ハクビシン- より転載)

その被害、犯人はハクビシンではありませんか？

都市化が進んだ当地域でも野生動物による被害が多くみられます。なかでもハクビシンは管内全域で生息が確認されており、梨やブドウなどの果実が食べられたり、収穫間際の野菜が荒らされたりと多くの農作物被害が報告されています。また、住宅や倉庫に住みついて糞尿で汚すことも問題となっています。アライグマも似た行動をとりますが、ハクビシンは前脚を器用に使つて袋を破いたり、スイカなどはくり抜くように中身だけを食べるので区別が付きまます。

【対策】
① 餌となるものを放置しない
収穫残さや廃棄する農産物を放置しておけば魅力的な餌場となつてしまいます。生ゴミ置き場なども注意してください。

屋根裏で休息しています。繁殖は年間を通じて行われ、一回に一〜四頭の子を産みます。雑食性で何でも食べますが、特に甘いものを好みます。ブドウなどは人間が食べたように皮をまとめて残しておきます。木登りが得意なうえ、一本の針金をつかんで渡ることもできます。移動は電線などを使うほか、河川や用水路などの水際を移動します。







五本指で針金をつかんで移動することができる

【生態】 ハクビシンは、ジャコウネコ科の動物で、日本には明治以前に移入されたと言われています。夜行性で昼間は建物の

② 農地へ侵入させない
柵や塀があつても隙間があればそこから侵入します。ネットも器用に破いてしまいます。穴を掘つて侵入することは少ないので、破けないようなネットを隙間なく張つておきましょう。

③ 建物に侵入させない
建物の屋根裏などは恰好の休息・繁殖の場所です。建物に侵入する隙間を作らないことが大切です。

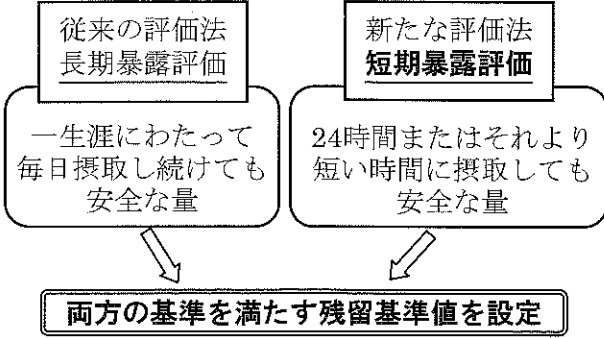
【捕獲】 有害鳥獣に対する対応は自治体により異なります。捕獲用わなを貸し出す場合もあります。お住まいの農政担当課にお問い合わせください。なお、わなによる捕獲にはわな猟免許が必要です。
野生動物による被害を減らすためには、地域の生息頭数を増やさないと重要で、「食べさせない」「住ませない」を心がけましょう。

	ハクビシン	アライグマ
顔	 顔の真ん中、鼻から額にかけて白い帯があり、白鼻芯の名の由来となっている。	 目の周りの黒い帯が目立つ。
足跡	 5本指	 5本指

ハクビシンとアライグマの見分け方

**農薬使用の際は、登録の確認を！
短期暴露評価が導入されました！**

農薬を使用した農作物の安全性を一層確保するため、農薬使用量の基準が左図のような評価法に改められました。この変更に伴い、オルトラン、ジェイエース、オンコルやアドバンテージなど、使用方法が変更された農薬があります。
農薬メーカーからの最新登録情報を必ず確認し、変更後の使用方法に基づき、農薬を安全に使用しましょう。



水稻 縞葉枯れ病に注意

近年、水稻生産者から、写真のような穂の異常株が見られたという問い合わせがあります。

これは、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病の縞葉枯れ病で、北関東では減収等の被害も発生していますが、当地域でも発生が確認されています。

ヒメトビウンカは日本でも越冬可能で、周辺のイネ科雑草が増殖場所となり、6月頃から本田へ飛来します。



出穂異常（出すくみ症状）
原図：千葉県農林総合研究センター

生育初期に罹病すると、穂の出すくみや不稔が発生し減収します。5月下旬以降の遅植えの場合には被害を受けやすくなります。また、再生株（ひこぼえ）に葉の黄化が見られる場合は罹病株の可能性があり、翌年の発生源になりますので、早めにすき込んでください。

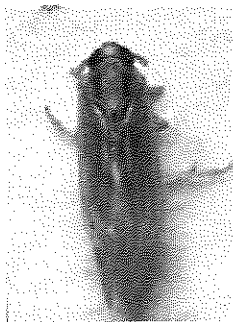
昨年、発生が見られ、ひこぼえの葉の黄化も多い場合、また、田植えが遅い場合などは、ウンカ類に登録のある箱施用剤の使用を検討してください。

主な育苗箱施用剤

- ・ダントツ箱粒剤
- ・スタークルノアルバリン箱粒剤

主な本田防除剤

- ・スミチオン乳剤
- ・スタークルノアルバリン粒剤



ヒメトビウンカ
(体長3mm)

農地中間管理事業の活用を！

高齢化、耕作放棄地の増加等昨今の農業問題の解決のためには、地域の担い手に農地を集積し、農家経営の安定化を図ることが重要です。

平成26年度から、農業振興地域における農地貸借の新しい仕組みとして、農地中間管理事業がスタートしました。

「農地中間管理機構」(原知事指定機関。以下、機構)が地権者と担い手の間に立ち、農地の借り受け、貸付先の選定・調整、担い手への農地貸付けを行う仕組みです。

○地権者のメリット

- ・要件を満たせば機構集積協力金が交付されます。
- ・地権者の意向を確認し、機構が適切な貸付先を選定し

経営の安定化を図る飼料用米多収性専用品種の導入について

飼料用米の多収性専用品種は、一般的な主食用米用品種に比べて子実が多収であり、濃厚飼料の代替飼料として、家畜に給与することができます。

経営所得安定対策では、多収

ます。
・賃借料の徴収も機構が行いますので安心です。

・貸借期間の満了後農地は戻りますが、再貸付も可能です。

○担い手のメリット

- ・複数の農地所有者との手続きが機構に一本化されます。
- ・長期間の借入れが可能です(基本10年間)。
- ・利用権交換等で分散ほ場の解消につながります。

本年度は現在までに柏市第二千拓地区で約15haの農地が、機構を介して地域の中心的担い手に集積されました。

地域における農業経営の持続的発展を図るため、ぜひ農地中間管理事業を御活用ください。
(問合せ先：各市農政課及び農業事務所企画振興課
TEL：04-7143-4121)

性専用品種に取組んだ場合、数量払のほか、各種助成金を受け取ることができます。
詳しくは農業事務所企画振興課までお問い合わせください。
(TEL：04-7143-4121)。

平成27年度 表彰者のご紹介
おめでとうございます！

柏市の秋谷さんは、就農1年目に小かぶ専作経営に転換し、以来45年以上にわたり、技術改善、規模拡大、施設導入等により、経営を安定化させました。同時に、農協のかぶ部会長として、地域での生産振興と共選共販体制の確立、市場評価の確保にも貢献されました。

(公益社団法人)大日本農会
農事功績表彰「緑白綬有功章」
柏市 秋谷幸男氏



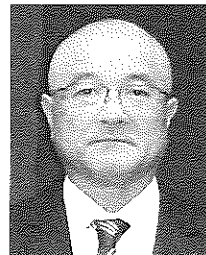
指導農業士
秋谷幸男氏(柏市)
野菜経営

平成7年からは、指導農業士として、後継者育成、食育活動に取り組み、消費者の農業理解促進に尽力されました。16年からは千葉県指導農業士会の理事副会長、会長を歴任されました。これらの功績が認められ、今回の受章となりました。

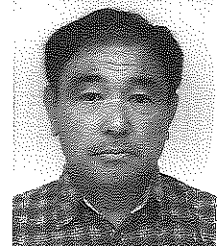
平成27年度 千葉県農業士等
新規認証者の紹介

平成27年11月20日(金)に、第39回農業士・指導農業士新規認証式典が開かれ、当地区からは指導農業士2名、農業士2名の計4名が新たに認証されました。

今後、個々の経営をさらに発展させると同時に、地域農業のリーダーとして、そして、青年農業者等、担い手の良き指導者として、ますますの活躍が期待されます。



指導農業士
山崎直之氏(柏市)
水稻経営



指導農業士
鈴木克己氏(船橋市)
果樹経営



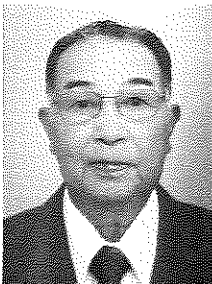
農業士
飯田展久氏(鎌ヶ谷市)
果樹経営



農業士
松本大佑氏(市川市)
果樹経営

文化の日千葉県功労者表彰
柏市 木村多喜雄氏
野田市 齊藤正一氏

柏市の木村さんは、平成6年に農業委員会委員に就任し、6年間の会長職を含め18年間にわたり、都市農業の問題解決に尽力されました。生産基盤整備対策、担い手対策、生産振興対策、農地行政事務の効率化等、多くの功績を残されました。
野田市の齊藤さんは、昭和62年の野田市木野崎第二土地改良区理事就任から木野崎地区の土



元野田市木野崎
土地改良区理事長
齊藤正一氏
(野田市)



元柏市農業委員会
会長
木村多喜雄氏
(柏市)

地改良事業に尽力され、当地区は農用地等集団化事業で優良地区に表彰されるまでになり、その功績が認められました。

平成28年度農業経営体育成セミナー
受講生の募集！

東葛飾農業事務所では、就農後数年までの青年を対象に農業経営体育成セミナーを開催しています。このセミナーでは、農業経営に関する知識・技術の習得に向けて、毎月1～2回、3年間の研修を行います。

平成28年度は5月開講予定です。お問い合わせは、農業事務所改良普及課までお願いします。